

市民と議会をつなぐ

# 市議会だより

SHINJO SHIGIKAI DAYORI

9月定例会

No.170

2025.11.10



新庄開府  
400年  
1625-2025

歴史と伝統を  
未来につなぐ

令和6年度決算を認定 …… P4～5

13人が一般質問 …… P6～12



←新庄市議会  
HPはコチラ

新庄亀綾織は、新庄藩9代藩主正胤（まさつぐ）が文政13（1830）年に技術者を招き、藩の特産品として奨励したのが始まりです。明治末期に生産が途絶え、“幻の織物”と呼ばれていたこともありましたが、現代に完全復元されました。細い絹糸で織り、織り上げてから染色するため、しっとりとした風合いと気品ある光沢、しなやかな手触りが特徴です。

# 8月臨時会

8月5日、報告1件を受け、議案2件、令和7年度補正予算2件を原案のとおり可決しました。

## 審議された議案

種類	番 号	件 名	結果
【市長提出】			
報告	第8号	損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	—
議案	第42号	令和7年度新庄市一般会計補正予算（第3号）	可決
	第43号	令和7年度新庄市水道事業会計補正予算（第1号）	
	第44号	和解及び損害賠償の額の決定について	
	第45号	新庄市水道給水条例の一部を改正する条例について	

# 9月定例会

初日、9月9日、報告2件を受け、人事案件3件に同意しました。  
最終日、9月25日、令和6年度決算5件を認定、1件を可決及び認定、議案6件を原案のとおり可決、1件を否決し、令和7年度補正予算6件を原案のとおり可決しました。  
また、追加提案された議会案1件を原案のとおり可決しました。

## 審議された議案等

種類	番 号	件 名	結果
【市長提出】			
報告	第9号	一般財団法人新庄市スポーツ協会の経営状況の報告について	—
	第10号	令和6年度新庄市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	
諮問	第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
	第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	
議案	第46号	令和6年度新庄市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第47号	令和6年度新庄市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	第48号	令和6年度新庄市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	第49号	令和6年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	第50号	令和6年度新庄市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定
	第51号	令和6年度新庄市下水道事業会計決算の認定について	認定
	第52号	令和7年度新庄市一般会計補正予算（第4号）	可決
	第53号	令和7年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	
	第54号	令和7年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	
	第55号	令和7年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	
	第56号	令和7年度新庄市水道事業会計補正予算（第2号）	
	第57号	令和7年度新庄市下水道事業会計補正予算（第2号）	
	第58号	新庄市教育委員会委員の任命について	同意
	第59号	新庄市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第60号	新庄市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	
	第61号	新庄市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	否決
	第62号	最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更について	
	第63号	新庄市手数料条例の一部を改正する条例について	
	第64号	字の区域の変更について	
	第65号	市道路線の認定及び廃止について	可決
【委員会提出】			
議会案	第5号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	可決

チョイス P13



## 議案に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案等をお知らせします。 ○→賛成 ●→反対

	会 派 名	新政・結の会										共に創る 市民の会						会派に 属さない 議員	採 決 結 果
議案等 番 号		小嶋 富弥	小野 周一	高橋 富美子	佐藤 卓也	山科 正仁	山科 春美	渡部 正七	鈴木 法学	辺見 孝太	鈴木 啓太	坂本健太郎	田中 功	伊藤 健一	今田 浩徳	新田 道尋	佐藤 悦子	亀井 博人	
議 案 第46号	令和6年度新庄市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議 案 第49号	令和6年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議 案 第62号	最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更について	●	●	●	—	●	●	棄権	●	●	●	○	○	○	○	○	●	○	否決

※議長は採決に参加しません。

## 請願の審議結果

件 名	請 願 者	紹介議員	結 果
地方財政の充実・強化に関する請願	新庄市職員労働組合 執行委員長 井上 勝人	鈴木 啓太 辺見 孝太 鈴木 法学	採択

## 常任委員会の報告

### 総務文教常任委員会の主な質疑

#### ●議案第61号

新庄市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について  
Q システム標準化により、経費が何倍にも上がるという情報があるがどうか。  
A 来年度の運用経費は、今年度より70%くらい上がる見込みである。

#### ●議案第62号

最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更について  
Q 事務局長と総合調整監を置くことで、人件費が増えるのではないか。  
A 総合調整監は事務局長を兼務するため、負担が増えることはない。

Q 昨年の本会議で否決され、今回変更した箇所は「置くことができる」としたこと、「副管理者」を「総合調整監」としたわけではないか。理事会ではどのように判断したのか。  
A 将来的には、プロパー職員が事務局長を担えるようになれば、総合調整監を置かず事務局長がそのような形をとることもできる。

#### ●議案第63号

新庄市手数料条例の一部を改正する条例について  
Q 今回の改正で、現行より負担が増えることはあるか。  
A 申請者の負担が増えることはない。

### 産業厚生常任委員会の主な質疑

#### ●議案第64号

字の区域の変更について  
Q 農地中間管理機構関連の農地整備事業の内容は。

## 議会報告会を開催します

市民とともに歩む議会、開かれた議会の実現を目指し、議会報告会を開催します。

市内3会場で開催しますので、都合の良い会場へお越しください。皆様の参加をお待ちしております。

開催日	開催時間	会 場	担当
11月25日(火)	午後6時30分 ～午後8時00分 (午後6時開場)	わくわく新庄	A班
11月26日(水)		新庄市民プラザ	B班
11月28日(金)		雪の里情報館	C班

## 人事案件

9月9日(定例会初日)において同意された人事案件をご紹介します

### ◎人権擁護委員

小国 毅 氏  
石川 美保 氏

### ◎新庄市教育委員会委員

小野 智絵 氏

A 受益面積は27ヘクタールで、総事業費は約8億1700万円である。農地を農地中間管理機構に一括して貸し出し、山形県が整備を実施することで、農業者の自己負担なしで圃場整備ができる事業である。



18日



19日

# れたか!!

賛成討論が1件ずつ表明されましたが、採決の結果、賛成多数で会計と特別会計の決算額は、歳入302億1927万円（前年度比4.3% 41.2%減）となりました。

画をご覧ください。



かむてん© 新庄市 × 富樫義博

## 一般会計

### 【歳入】

#### 財政状況

Q. 市の財政指標は改善傾向にあるとされているが、現在の財政状況を伺う。

A. 比率的安定しているが、これに安心して起債事業などを増やすと後年度に経常経費として跳ね返ってくるため、計画的に運営していくことが重要と捉えている。

#### 市税（収入未済）

Q. 市税全体で収入未済額が前年度に比べ965万9000円増加している。コンビニ、スマホ納付は伸びているが他の収納対策は考えているか。

A. 現在行っている口座振替、スマホ決済、コンビニ収納について、さらに周知を図りたいと考えている。

#### 土地建物売払収入

Q. 北本町にある市有地について、屋外の遊び場として活用を望む声もあるが、有効活用に向けた方策を伺う。

A. 検討は進んでいないが、屋外の子どもの遊び場としての活用も一つの考えである。未利用地の処

分についても検討の必要があるが、子どもの遊び場としての活用についても、場所をここにするかは別として、市全体で検討すべき課題である。

### 【歳出】

#### 市公式LINEアカウント

##### 機能拡張業務委託料

Q. 公園の損傷を通報する機能は活用されているか。また、道路の損傷の通報まで機能の拡張を考えているか。

A. これまで公園の損傷についての通報はなかった。道路の通報についても機能拡張は考えているが、通報を受けた際の体制などについて検討する必要があるため、担当課とも調整しながら取り組みたい。

#### 家庭用冷房機新規購入

##### 事業補助金

Q. 補助要件と、申請された方すべてが補助を受けたのか伺う。

A. 熱中症による健康被害を予防するため、住民税非課税世帯の高齢者や障がい者世帯がエアコンを購入する際の経費のうち3分の2、上限5万円の助成を行った。57件の申請があり、申請いただいたすべての方に助成を行った。

#### 障がい者移動手段確保事業

Q. 給油券の利用率が高い。通学・通勤の送迎に利用する方にとっては少ない支援ではないかと思うがどうか。

A. タクシー券よりも給油券の利用率の方が高いことを踏まえ、令和7年度からは枚数を12枚に増やしている。

#### 森林環境譲与税基金積立金

Q. 前年より歳入が増えてもほぼ同額を積立てに回しているが、有効に活用できないか。

A. 今後、カーボンニュートラルなど、森林の有効活用に向けた取り組みに財源を活用したいと考えている。

#### 定住促進住宅管理事業

Q. 定住促進住宅の修繕件数が63件となっているが、管理戸数も同数か。また、令和6年度の修繕が完了してからの申込状況を伺う。

A. 管理戸数と同数ではなく、状況に合わせた修繕をしており、1戸に対し複数件の修繕を行っている場合もある。東北農林専門職大学の学生向けに10戸改修し、令和7年度入学された方のうち5名が入居している。

## 令和6年度 決算を認定

9月18・19日の決算特別委員会において、一般会計については、19日に反対・認定すべきものと決し、9月25日本会議において賛成多数で認定されました。一般増)、歳出288億3574万円(前年度比6.4%増)、実質収支10億190万円(前年度比※掲載している文章は、抜粋し、要約したものです。詳しくはQRコードから動

### 空き家対策事業費

Q. 空き家に付属している農地が売買の妨げになっているケースがあるが、このようなケースでの支援はあるか。

A. 空き家バンクや空き家除却に係る支援を活用していただくほか、農地転用については関係課へ情報を共有し、連携しながら支援を行っている。

### 非常備消防費

Q. 災害や水害など、火災以外の災害の消防団の出動基準の検討をどのように進めているか。

A. 消防団分団長以上会議において、市から消防団長に出動の要請を行い、消防団長からの指示に基づき出動した場合は活動報酬を支払うこととしている。

### 災害対策費

Q. 各学校や指定されている避難所に分け管理している災害備蓄品をリスト化し、何らかの媒体に掲載する予定があるか伺う。

A. 現在はそのような予定はないが、内部で検討したい。

### 学校給食費補助金

Q. 学校給食費は少子化対策として、一部補助ではなく全額補助とすべきと思うがどのように考えて

いるか。

A. 令和6年度は第一子に対し、小学校は1食15円、中学校は1食20円、第二子は半額、第三子以降は全額補助とした。今年度は第一子の補助額を引上げ、小学校は1食40円、中学校は50円を補助している。国でも学校給食無償化が検討事項として上がっており、子育て支援の重要性と併せて総合的に判断していく。

### まつり振興基金

Q. 令和6年度に587万4800円取り崩し、決算年度末の現在高は476万4715円だが、今後の運用についてどのように考えているか。

A. 具体的な方針は決まっていないうが、今後も皆様が安心してまつりを楽しめる新庄であり続けるために、検討を重ねながら運用したいと考えている。

### 国民健康保険事業特別会計

#### 国民健康保険税の税率

Q. 市の国民健康保険税の税率の県内13市での順位を伺う。また、国保税を少しでも下げるため加入者ができることはないか。

A. 令和6年度は13市中12位と2番目に低く、令和7年度は税率の

引上げを行った自治体があることから、13市中13位と最も低い税率である。また、税率については国民健康保険運営協議会で検討いただくことになるが、歳出の7割を給付費が占めていることから、適正受診、ジェネリック医薬品の利用促進、特定健診が重要であると認識している。

### 介護保険事業特別会計

#### 市地域活動組織育成 支援事業委託料

Q. ふれあいサロン開所の地区が増加し回数・参加者が増えたようだが、工夫したことはあるか。

A. 委託先である地域包括支援センターにおいて生活支援コーディネーターを中心に事業の紹介をしていただいている。また、介護予防に関する啓発活動、サロン立上げの際の支援も行っている。





## 一般質問

一般質問は、9月10日、11日、12日の3日間、13名の議員が行いました。

質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。

※掲載している文章は、抜粋し、要約したものです。詳しくは各議員のQRコードから動画をご覧ください。

ねえ、かむてんおしえて！

一般質問って何？

一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。

かむてん 新庄市 × 富樫義博

### 9月定例会一般質問の質問者と質問事項

#### 渡部 正七

1. 「地域おこし協力隊」について
2. 「防災対策」について
3. 「人生会議（ACP）の普及・啓発」について **P6**
4. 「買い物弱者と移動販売」について **P6**
5. 「学校の安全管理」について

#### 坂本健太郎

1. 政策形成過程への女性の参画について **P7**
2. 女性の就労・起業支援と地域定着の実現に向けて **P7**

#### 田中 功

1. 災害復旧の進捗と今後の対応について **P7**
2. 山屋温泉の入湯税減免と公共交通の活用について **P7**
3. 健康診断の受診促進とフォロー体制について

#### 鈴木 啓太

1. 関係人口の創出について
2. 体育施設の利用環境について **P8**
3. 市道の安全対策について **P8**

#### 山科 春美

1. 社会教育施設施設の整備計画について **P8**
2. 観光のまちづくりについて **P8**
3. べにばな国体の記念モニュメントに収められたタイムカプセルについて

#### 山科 正仁

1. 道の駅「新庄エコロジーガーデン原蚕の杜」の有効活用に向けた方策について **P9**
2. 新庄志誠館高校開校に伴う小中学生への影響と市の対応について **P9**

#### 小嶋 富弥

1. 持続可能な市政運営について **P9**
2. 学校教育について

#### 亀井 博人

1. 高温湯水対策について **P10**
2. ゼロカーボンについて
3. 子育て対策について
4. 学校とまちづくりについて **P10**

#### 辺見 孝太

1. 新庄まじりの観覧席について
2. 農村環境改善センターの今後について
3. 専門職大学の学生の誘致について **P10**

#### 小野 周一

1. 公約の自己評価について **P11**
2. 雇用の創出について **P11**
3. 米政策について

#### 佐藤 悦子

1. 中小企業・小規模事業者支援の抜本的強化で賃金の引き上げを **P11**
2. 学校教育について
3. すべての国民が安心して国産米を食べられるように
4. 多面的機能支払交付金事業の公正な運用のために

#### 伊藤 健一

1. 新庄市の義務教育における水泳授業について
2. 特にクマなどの危険鳥獣への対策について **P12**
3. 猫の不妊・去勢に対する補助等事業実施について **P12**

#### 高橋富美子

1. 健康増進について **P12**
2. 安全・安心の街づくりについて

質問動画はこちらから



## 安心して生活するための支援の充実



わたなべ しゅうしち  
渡部 正七 議員

◎本市における人生会議についての認識と認知度をどのように捉えているのか。また、今後普及・啓発の取り組みをどのように推進していくのか見解を伺う。

市長 人生会議は、高齢化が急速に進む中、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らすための手法の一つであり、病气やけがなど、もしものことが起きた場合に備え、ご家族や周囲の信頼する人、医療機関などと繰り返し話し合い、共有する機会を持つ取り組みです。元気なうちから治療や療養生活についてあらかじめ話し合うプロセスですが、市民の皆様の認知度はまだ低いものと捉えています。

また、人生会議の普及・啓発の取組みは最上8市町村で運営する最上地域在宅医療・介護連携拠点「@（あっと）ほーむも

がみ」において、「もしもの時のお役立ちノート」を作成し、普及・啓発を行っています。

今年度も、あっとほーむもがみにおいて講座等を企画し、普及・啓発に取り組んでいます。

◎買い物弱者対策として移動販売サービス等が定着すれば食の供給だけでなく地域経済やコミュニティの活性化及び介護予防等多くの相乗効果が期待できる。市の見解を伺う。

市長 買い物弱者への支援は市民生活を守る上で重要な課題であると認識しています。その点を踏まえ、買い物弱者を支援する手段は移動販売だけに限らないとも考えています。公共交通を利用した移動手段確保の取組みや、地域の公民館などを活用した臨時販売所の設営など、先進自治体の事例を参考にしながら、様々な観点から地域コミュニティの活性化につながるような施策を検討していきたいです。



買い物弱者対策は



## 女性の声を政策に、女性から選ばれる地域に

◎若年女性の流出背景には暮らしやすさ・働きやすさ・市政への参画機会の不足があります。女性が生きやすい・戻りやすい新庄へ、多様な声を施策に生かす取り組みは。

市長 様々な施策において、女性の意見を取り入れることで女性により活躍できるまちが形成され、そのことにより女性から選ばれるまちにもつながるものと認識しています。

現在は、男女の区別なくアンケートなどにおいて本市の施策に対する意見を聴取しており、その結果は施策を検討する際の参考とさせていただきます。今後は、若者や若い女性が本市の施策に求めるものを分析し、施策に反映できる仕組みを構築していきます。

◎若年女性が戻れない・暮らせない背景には給与水準や職業の魅力不足があります。起業支援など市の取り組みは。



さかもと けんたろう  
坂本 健太郎 議員

市長 短時間勤務、フレックスタイム、テレワークなどの柔軟な働き方は、ワーク・ライフ・バランスの推進にも大きく関わります。また、女性が自身のスキルや興味を活かして地域で働きがいのある仕事に就けるよう、企業を含めた多様な就労機会の創出を支援することは、若年女性の定着に直結する重要な課題と認識しています。

昨今、女性の起業が多く見られる職種としては、女性のきめ細やかな視点を活かしたものが多く、美容サロンやリラクゼーション、自身の経験や趣味を生かしたコンサルタント業やハンドメイド商品の販売等が増加傾向にあります。

今後、IT・情報通信業やコンサルティング等、柔軟な働き方が可能な業種の起業・創業支援や、複数の仕事を持つ副業の支援、創業機運醸成セミナーの開催など、時代に合った様々な起業ニーズにお応えできるような支援を実施し、女性のみならず、若者が自分らしい働き方を選び、本市で豊かに暮らし続けられる社会の実現を目指します。



としま100人女子会のチラシ

質問動画は  
こちらから



## 山屋温泉の入湯税免除を！



再開した【山屋温泉】

◎市民待望の山屋温泉が、民間事業者により昨年夏にオープンしました。市民の健康増進と低廉な入浴料維持のため他市町村でも行っている入湯税の免除が出来ないか伺います。

市長 入湯税は地方税法の規定により、温泉に入浴する方が負担し、それを経営者が納付する間接税で



たなか いさお  
田中 功 議員

あり、また、環境衛生施設の整備や観光振興などの経費に充てられる目的税です。

温泉施設は市民の健康づくりに寄与しているものと認識していますが、市としても入湯税は重要な財源の一つでもあります。受益者に負担を求めるといった法律の趣旨を考慮しても、現行の税率を維持することが適当であると考えています。

◎昨年発生した豪雨災害で、農地の復旧が遅れております。未発注工事や入札不調の対応策をどのように考えているか伺います。

市長 未発注事業が存在する理由については、災害復旧工事の発注数が多く、測量設計や経済比較などに時間を要したことが要因であると認識しています。現在は実施設計が完成しているため、今後、早期発注に向けて入札手続きを進めていきます。

また、入札不調の原因については、すでに国や県をはじめ他町村の工事を複数受注しており、従事する技術者及び作業員の確保が困難であることが原因となっているものと捉えています。今後の対応として、このような課題を整理し、複数工事での技術者の兼任や複数箇所を合算し発注件数の調整や工期の見直し等を行うことにより、事業者が応札可能な発注形態にしていく必要があると考えています。



質問動画は  
こちらから

## 東山体育館に冷房を！

すずき けいた 議員  
鈴木 啓太 議員

◎近年の猛暑により熱中症や体調不良のリスクが高まっています。大会開催の拠点でもある東山体育館には冷房設備が必要だと考えますが、市の考えを伺います。

**教育長** 近年は猛暑が続いており、館内も高温になることから、利用者の熱中症や体調不良の危険性が高まるため、施設管理面における暑熱対策には大きな課題があると考えています。

市としても、冷房設備の整備が暑熱対策に大きな効果があることを認識していますが、整備には単に冷房設備を導入するだけでなく、施設の断熱性の向上や電気設備の更新等、様々な確認、調整が必要となります。

本市のスポーツ活動の拠点となっている市体育館への冷房設備の整備については、今後、体育施設全体の整備のあり方を見直す中で検討していきます。



わらすこ広場前の歩道

◎北本町の歩道にはタイルの剥がれや下地の露出が多数見られ、雨や雪の日には特に滑りやすくなり危険です。歩道整備について市の考えを伺います。

**市長** 市道の維持管理については、定期的なパトロールや市民の皆さまからの情報提供などによる状況を確認し、緊急性や対応策を確認しながら維持修繕を行い、安心して通行できるように努めています。

北本町の歩道については、経年劣化による損傷に加え、アーケードの撤去に伴い機械除雪を行っていることが、劣化を早めている要因のひとつであると考えられるため、劣化が進行し、滑りやすくなっている箇所や損傷により凹凸がある箇所については、舗装補修の対応を行い、歩行者の安全確保に努めています。

また、歩道の整備については、車道を含めた全体的な路線の劣化度合いや優先順位を勘案したうえで検討したいと考えています。

質問動画は  
こちらから

## 魅力ある観光のまちづくりについて

◎歴史センターの現在の復旧状況と今後の復旧計画について伺います。

**教育長** ふるさと歴史センターについては、現在1階のお祭りホールのみ開館しています。今後は、本年5月に策定した地下機械室復旧計画を基に、館内設備の配置や収蔵品の展示方法も含めて、工事内容を精査し、実施設計に向けて事務手続きを進めます。

◎しんじょう観光大使の今村翔吾さんの「火喰鳥」の漫画・アニメ化により「聖地巡礼」の地とし当市を訪れる方を増やしていくために、空き店舗を利用し漫画ミュージアムやその他文化団体や観光資源との連携による回遊性のあるまちづくりを進めてはどうか。

**市長** 新庄まちなか漫画ミュージアムは、万場町商店街の有志による商店街のにぎわいづくりのご提案をいただいたことをき

つかけに、昨年5月から万場町商店街をメインエリアとして開催しています。

今年度はこれに加え、観光庁の補助事業として漫画・アニメコンテンツを活用した地方誘客・周遊プロジェクトが7月末に採択されたため、今村先生や出版社などの関連事業者のご協力もいただきながら、漫画ミュージアム事業と連携したフォトスポットの設置やモニターツアーを実施し、インバウンド観光客を含め、国内外問わずより多くの方に本市のまち歩きや周辺地域も含めた聖地巡礼のような周遊観光を楽しんでいただけるよう、事業に取り組んでいきます。

空き店舗を活用した文化団体や観光資源との連携については、今後事業を展開していく中で、必要に応じて協議を行っていきます。

やましな はるみ 議員  
山科 春美 議員

今村翔吾さんの小説のアニメ化を祝うラッピングバス





## 「まちと教育」新庄の未来

◎道の駅「新庄エコロジীগーデン原蚕の杜」の開業において、高速道整備による広域交通の変化に対応する誘導策や観光との連携戦略を伺う。

市長 道の駅「新庄エコロジীগーデン原蚕の杜」整備における基本方針が、「地域の人に愛され、訪れる人には何度でも来たる「目的道の駅」であること」を踏まえ、道の駅としての道路利用者に対する利便性の向上のみならず、既存施設としてエコロジীগーデン全体のPRを強化しつつ、

全国・東北・山形県それぞれの「道の駅」連絡会のネットワークの活用や周辺自治体等と連携した



歴史との融合 道の駅

周遊プランを検討したいと考えています。

◎令和8年開校予定の『新庄志誠館高校』へ将来進学を希望する小中学生へのキャリア教育の充実や高校との連携策をどのように強化していくのかを伺う。

教育長 市内各校では、キャリア教育の全体計画を作成し、特別活動や総合的な学習の時間等の中で、地域の方や自然や文化と関わりながら、将来設計や生き方などについて考えるような学習を発達段階に応じて行っています。特に、現在行っている大学や専門学校への上級学校訪問や、商工観光課で行っているShin-jobのような企業体験や職場体験等を通して、一人ひとりの子どもが自分の夢を見つけ、それに向かって努力し続けられるようなキャリア教育が重要であると考えています。

高校との連携については、新庄北高校等での探究学習発表会に中学生も参加し、自分の探究学習について振り返るとともに、新たな学びにつながるようになっています。来年度からは、新庄北高校普通科探究コースが新庄志誠館高校探究科になるため、これまでの高校との交流を土台としながら、専門的な知識をもとに、ともに学んだり研究したりしながら、より探究的な学びが深まるような連携が可能であると考えています。



## 持続可能な市政運営について



おしまとみや 小嶋 富 弥 議員

◎山科市長は、令和5年9月に市長に当選し、市政を担われて2年が過ぎ、これからは折り返しの2年の任期です。人口減少対策等をはじめ、山積する諸課題解決に向け、市長は何を標榜し持続可能な市政運営を図られるのか伺います。

市長 市長就任以来、「対話と決断」「未来への責任」を基本理念とし、市の課題克服に向け新たな発想とスピード感をもって取り組んできました。その中でも人口減少への対応は大きな課題であり、長期的視点で対応しなければならぬと考えています。

当面は人口が減少するという事態を受け止めたうえで人口規模が縮小しても社会を機能させる適応策を講じる必要があります。

そのために、産業振興・ビジョンに基づく持続可能な地域経済の創出と若者の移住やふるさと回帰を促進させ、市民の皆様が健康で安心・安全に暮らせる生活環境を整えることが重要と考えています。

今後の2年間は、東北農林専門職大学との連携を深め、学生と地域を結びつけたコミュニケーションを形成するとともに、インターチェンジ付近道の駅の検討会再開、県立新庄病院と連携した健康づくり、道の駅新庄エコロジীগーデン原蚕の杜を契機とした観光コンテンツの開発や産業振興、二地域居住の推進による交流人口の拡大、本市出身の著名人の協力を得て観光振興を図るなど、誰もが将来に希望を持てるまちづくりを進めます。

◎市民サービス向上に向けた「書かない窓口」設置の進捗状況と、実施時期について伺います。

市長 書かない窓口の設置に向け、使用するハード機器導入の準備に加え、職員研修を開催するなど情報の共有に努めています。

今後は、システムの詳細な仕様について確定していくほか、市民課フロアのレイアウト改修や具体的な事務フローの作成を進めるなど確実に準備を進め、来年2月からの稼働を予定しています。

また、書かない窓口導入後も、各課で情報連携ができれば、全庁的にDXを推進していきます。



市民課窓口

質問動画は  
こちらから

## 高温・渇水 待望の新高校



かめい ひろと 議員 亀井博人

◎危険な暑さが続いた夏。7月の降水量は8ミリと最小を記録。「高温渇水対策本部」を初めて設置。今後も続くと思われる危険な暑さへの対策について伺います。

市長 市では、令和7年7月29日に新庄市高温渇水対策本部を設置し、関係機関と連携を深め迅速な情報共有と対応に努めました。

具体的な対策として、高温・渇水に伴う農産物等に対する被害軽減と生産の維持を図るため農業用水確保対策及び園芸作物生産資材、肥料農薬の購入に対する助成制度を設け、高温渇水対策を実施する農家負担軽減のための支援を行っていきたいと考えています。

◎待望の新庄志誠館高校が、7年後、新庄南高校の敷地に新築されます。周辺の道路状況や敷地の制約等から、朝の自動車送迎の際の対策について伺います。



朝混み合う新庄南高校付近T字路

市長 新校舎が市街地に新築移転されることは、都市機能のひとつであり、新庄・最上地域において重要な教育施設でもあることから、市としても様々な面から関わっていく必要があると認識しています。

開校し新校舎が整備されると、周辺道路の交通環境の変化が想定されます。特に通学時間帯においては、自動車での送迎などで渋滞が発生することも懸念されます。

県の計画によると、今年度から新校舎の基本設計及び実施設計を行い、建物の配置や駐車場、送迎車への対応なども検討していく予定であるとのことですが、今後の設計作業に合わせ、県の関係部局と協議し、周辺道路網の交通実態や送迎車の通学動線などを考慮し、必要に応じて市道改良の検討をしていきたいと考えています。

質問動画は  
こちらから

## 学生居住支援！家具家電Wi-Fi

◎東北農林専門職大学の学生を新庄市に呼び込むには他の自治体に負けない居住支援が重要と考えます。現在新庄市では学生の居住誘導のためにどのような方策を検討していますか。

市長 東北農林専門職大学の学生の居住支援として、定住促進住宅を改修し、フローリング化やエアコン、ガスコンロ、給湯器等を備え付け、入居を受け入れています。今後は、さらに学生や教職員が本市に居住していただくため、新たな住宅の建設について、財源の確保を視野に入れ、他の自治体の事例を参考にしながら、民間企業と協力



東北農林専門職大学

できるような形で事業を進めていきます。

◎学生や教職員向けに家具や家電Wi-Fiを付帯設備として備えた住宅を提供し、新庄市に居住する学生や教職員を増やすことができないか伺います。

また、将来的には卒業生からのリースで家具を回すようなことも学生支援になるのではないかと思います。新庄市が回収し市内の学生支援に活用するなど、再利用の仕組みを整えることはできないか伺います。

市長 家具や家電など付帯設備を備えた住宅の整備については、入居時の初期費用の負担を軽減し、入居者の利便性を高める有効な方策であると認識しています。総合的な建設費用は家賃にも反映されるため、その需要を見込みながら、また、維持管理費や家電等の更新費用も考慮しながら検討を進めていきます。

また、大学の多い山形市などでは民間のリサイクル業者や生協などを通じてリースが行われていることを認識しています。新庄市では、自治体に関わりながらリースを行うことになるとは思いますが、非常に面白い取り組みであり、また学生のためになると考えているため、一般家庭からのリースなども含め、関係各課と協議しながら検討していきます。

へん み こう た 議員 辺見孝太





## 市長の政治姿勢について



おの しゅういち  
小 野 周 一 議員



市庁舎

◎新庄市の最大の行政課題は人口減少問題であります。市民との約束である公約を市政運営に反映されて来た具体的な施策の自己評価について質問します。

市長 これまで、「対話と決断」

「未来への責任」を基本理念とし、市が抱える諸課題を克服するため、公約である「全ての市民の方々とともに、対話型のまちづくり」、「子育て支援充実と地域力を活かす教育の充実」、「次世代につながる産業・雇用・道の駅」、「東北農林専門職大学を活かした持続可能な農業」、「新たな医療連携により、みんなが健康長寿のまち」の実現に向けて取り組んでまいりました。このほかに、『輝く未来へ挑戦するまちづく』

り」のスローガンのもと、空き家対策事業や地域防災マネージャーの配置、書かない窓口等の導入によるDX化の推進などの新規事業に取り組んでまいりました。

残り2年の任期は、人口減少を最大の課題と捉え、危機感とスピート感を持って取り組んでまいります。

◎雇用の創出を図る工業用地整備事業は2年間、休止状態であり雇用環境に影響を与えています。執行権のある市長として「再考・中止」の政策的判断について質問します。

市長 単に工業用地を造成して企業を誘致すれば立地する状況ではないことから、若者をはじめとした働き手から選ばれる、魅力あるまちづくりが必要であると考えています。地域の雇用や企業の投資の受け皿として工業用地の確保は重要な課題の一つですが、経済・産業を取り巻く情勢や地域特性を踏まえた、特色ある持続可能な産業づくりを目指すことも必須であると考えています。

そのため、産業振興ビジョンを策定し、工業用地整備を含む産業施策を総合的に推進することとしています。産業ビジョンは今年度中の策定に向けて作業を進めており、策定委員会では、やりがいのある職場や仕事の創出、地域の付加価値を高め循環を生み出す仕組みづくり、地域特性を生かした新たな産業の創出の3つの視点を重視して議論をしています。

質問動画は  
こちらから



## 最低時給ただちに1500円に



さとう えつこ  
佐 藤 悦 子 議員

◎物価高騰対策として、最低時給1500円への大幅引上げが求められている。大企業の2012年以降に増えた内部留保に2%だけ課税し、中小企業を支援することを国へ提案するとともに、市独自の支援を行ってはどうか。

市長 最低賃金については、報道等されているとおり、山形地方最低賃金審議会が山形労働局に77円の引上げを答申しています。これにより本県の

最低賃金は1時間あたり1032円となり、ついに千円の大台を突破する見通しとなり、2002年

	現金給与総額
一般労働者	368,833円
パートタイム労働者	118,687円

山形県毎月勤労統計 就業形態別の賃金（令和6年平均）

度以降、5年連続で過去最大を更新しています。

このような状況を踏まえ、賃金については、本来、企業の成長と地域経済の発展の中ではじめて持続可能なものになると認識しています。そのため、本市としては、賃金を引き上げるための市独自の補助は考えていませんので、ご理解願います。

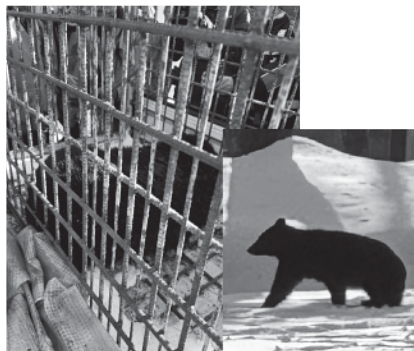
◎医療、介護、福祉の現場で働くケア労働者に、社会的役割の重要性に応じた賃金の保障を国に求めるべきではないか。

市長 医療、介護、福祉の現場では、人材不足や長引く物価高騰により諸経費の増加が全国的な課題とされています。この状況を踏まえ、全国知事会、全国市長会において、国に対し各種制度の拡充や見直しをはじめ、人員確保の観点から他業種と比べて遜色のない賃金水準となるよう底上げを図ることや、物価高騰に対する事業者への財政支援を行うことを申し入れているところです。

本市においては、今年度、補正予算により、物価高騰対策として医療機関、介護保険事業所、障がい者事業所へ支援金を支給する予定です。

質問動画は  
こちらから

## クマなどの危険鳥獣への対策について



今年2月、市内中心部に出没したクマ

◎特にクマなどの危険鳥獣への対策について、県内で被害が相次ぎ餌不足も懸念される中、市街地への侵入を防ぐための対策と、特に里山と市街地の間の緩衝地帯の草刈りや除草剤散布の事業化の考えを伺います。

市長 市街地への侵入を防ぐための対策については、目撃情報のあった山際の農地付近への罠の設置等により、捕獲、駆除を実施していますが、クマだけでなくシカやイノシシ等の有害鳥獣による被害も確認されており、さらなる対策



伊藤 健一 議員

また、市民への啓発については、市民から寄せられる野良猫の苦情だけでなく飼い猫についても適正な管理を促すため、チラシ配布などの啓発を行い、広く知っていただくことが重要であると考えているため、定期的に周知を行うよう努めます。

市長 猫の不妊・去勢に対する補助制度については、野良猫に起因する環境衛生面での問題や、野良猫の頭数を増やさないためにも重要な手段であるため、制度の導入に向けて検討を始めていますが、他の地域では愛護団体が中心となつて不妊・去勢などの活動を行っており、本市ではこのような活動を行う団体等がないことが課題となっております。

◎猫の不妊・去勢補助事業について、市の現状や多頭飼育崩壊の問題認識を踏まえ、制度導入の検討状況を伺います。また、市民への啓発をどのように考えているか伺います。

が必要となっております。

里山と市街地の間の緩衝地帯の対策については、収穫後の農産物の残渣の処分や収穫を行わない果樹等の樹木の伐採など、誘因物の除去を農業者へ呼びかけています。また、鳥獣が潜みやすい草むらや藪などの環境整備は、地域や集落単位で取り組むことが重要であると考えています。

質問動画は  
こちらから

## ベジチェックの導入について



高橋 富美子 議員

◎塩分摂取量の削減は健康寿命の延伸や生活習慣病の予防に欠かせない喫緊の課題であると認識しています。これまでの減塩



ベジチェック

◎自身の野菜摂取量を手軽に「見える化」できる機器「ベジチェック」を導入し、市民の健康意識の向上と食生活の改善を促すツールとして活用されてはいかがでしょうか。

市長 健康測定会において、毎年、連携協定を結んでいる明治安田生命様のご協力をいただき、野菜摂取充足度が測定できるベジチェック測定を実施しています。

また、出前講座で生活習慣病食事関係の講話内容を希望する団体が以前は3割程度でしたが、ここ数年で5割以上を占めるようになり、市民の方々の関心度が向上していることがうかがえます。

減塩対策については、本市でも取組みを推進すべき大きな課題ととらえており、過大な塩分摂取が生活習慣病と非常に大きな関わりを持つ要因であることを市民の方へ周知が図られるよう、今後も取り組んでいきます。

市長 減塩対策の取組みについては、健康講演会や出前講座、料理教室、乳幼児健康診断等でチラシを配布し、令和6年度は約60回、1000人以上の方々減塩の講話を実施しています。また、昨年度より健診会場に午後から職員2名を配置し、減塩の声がけをしています。その他にも、食生活改善推進員のご協力により、料理教室開催のほか、減塩に関するミニポスターや持ち帰り用レシピを公共施設や市内スーパーに掲示していただいています。

対策がどの程度効果をあげ市民の減塩意識向上や行動につながっていますか。また、減塩対策についての課題をお伺いします。



議会案第5号

## 地方財政の充実・強化に関する意見書

いま、地方公共団体には、急激な少子・高齢化にともなう社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下での地域活性化をはじめ、DXの推進、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる新たな役割が求められています。

加えて、多発する大規模災害への対応や新興感染症への備えも求められる中、地域公共サービスを担う人員は依然として不足しており、職場の疲弊感は日々深刻化しています。

政府はこれまで「骨太の方針」に基づき、地方一般財源の前年度水準を確保する姿勢を示してきましたが、増大する行政需要と人員不足の現状を踏まえれば、今後はより踏み込んだ財源確保が求められます。

このため、2026年度政府予算および地方財政の検討にあたっては、現行の地方一般財源水準確保より積極的に踏みだし、社会全体として求められている賃上げ基調にふさわしい人件費の確保を含めた地方財政の一層の充実を図るよう、以下の事項を強く要望します。

記

1. 社会保障の充実、地域活性化、自治体DX、脱炭素化、物価高騰対策、防災・減災、学校施設や公共施設の更新・維持管理、公共インフラ（道路・水道等）の老朽化対策、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視しつつ、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実をはかること。
2. とりわけ、子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、より高まりつつある社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、引き続き、地方単独事業分も含めた、十分な社会保障経費の拡充をはかること。とくに、これらの分野を支える人材確保にむけた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。
3. 政府として減税政策を検討する際は、地方財政を棄損することがないように、あらかじめ「国と地方の協議の場」を活用するなどし、特段の配慮を行うとともに、地方財政への影響が想定される場合は、確実にその補填を行うこと。
4. 自治体業務システムの標準化・共通化にむけては、その移行に係る経費はもとより移行の影響を受けるシステムの改修経費や大幅な増額が見込まれるシステム運用経費まで含め、必要な財源を補填すること。また、戸籍等への記載事項における「氏名の振り仮名」の追加やマイナンバーカードと健康保険証・運転免許証の一体化など、自治体DXにともなうシステム改修や事務負担、人件費の増大が想定される際は、十分な財政支援を行うこと。
5. 地域の活性化にむけて、その存在意義が改めて重視されている地域公共交通について、公共交通専任担当者の確保を支援するとともに、こども・子育て政策と同様、普通交付税の個別算定項目に位置付け、一層の施策充実をはかること。
6. 自治体の行う事業において、労務費の適切な価格転嫁が果たされるよう、必要な財政支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書とは

地方公共団体の公益に関する事件に関して、議会の意思を意見としてまとめた文書のこと  
で、議会は可決された意見書を国会や関係行政庁に提出することができるんじや。



かむてん 新庄市 × 富樫義博

衆参両院議長、関係大臣に送付しました。

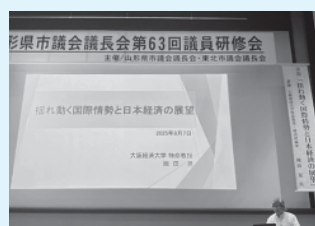
## 山形県市議会議長会第63回議員研修会

大阪経済大学特命教授で経済評論家の岡田晃氏が、「揺れ動く国際情勢と日本経済の展望」と題して、「新冷戦」と呼ばれる世界の構図や日本関税交渉の行方などについてご講演されました。その中でアメリカのトランプ政権に触れ、各国との関税交渉について「関税をディール（取引）の駆け引き材料としている」と指摘し今後の展望を示しました。

この研修会は県内13市の市議会議員が一堂に会し、議員の資質向上、議会活性化を目的に毎年開催しています。このたびの講演内容では「インバウンド（訪日客）が過去最高を記録し、今までにない地方活性化の経路ができています。山形県も発展する可能性を大いに秘めている。」という言葉が印象的でした。

キーワードは『課題こそニーズ。』構造変化に対応し、新たなニーズをいかに地域に取り込んで行くのか。この研修で、学び得たことを今後の議会に活かしてまいります。

日時／8月7日(木)  
主催／山形県市議会議長会・  
東北市議会議長会  
会場／山形国際交流プラザ  
「山形ビッグウイング」



## 市民の声

地域で活躍する皆さまの声を紹介します。

## 一度きりの挑戦



最高の仲間たちと



明倫学園9年 まつだ みと 松田 心里 さん

私が、今村翔吾先生プロデュースの新庄開府400年記念事業「ダンスプロジェクト羽州ぼろ鳶組」に参加したきっかけは、友達に誘われたからです。私はダンス初心者で、カウントを覚えるところから始まりました。初めは皆についていくことができず、練習に行くのをためらうこともありました。

今村先生の目標は高く、札幌市で行われる「YOSAKOIソーラン祭り」に出場しグランプリを取ることに。「1%でも勝ちに行く気持ち、人の心を打ち、最後に勝てる可能性があるとしたら、自分たちの想いしかない。」声も出せない、自分の隊のことばかり考えていた私たちを叱咤激励し、羽州ぼろ鳶組の本気を植え付けてくれました。

「ダンスってこんなに楽しいんだ」と思えるようになり本気でダンスに組み、すべてのお客様に元気と感動を届けたいと駆け抜けてきました。羽州ぼろ鳶組で学んだ、何度失敗しても、何度心が折れそうになっても、そのたびに立ち上がり挑戦を続けていきます。

(松田 心里)

## 12月定例会の予定

11月25日(火) 請願締切

12月5日(金) 開会

8日(月) 一般質問

9日(火) 一般質問

10日(水) 一般質問

11日(木) 常任委員会

12日(金) 常任委員会

17日(水) 最終日

中継あり

中継あり

開会は10時です ◇請願は随時受け付けております。

## 議会の傍聴について

どなたでも傍聴できます。受付票に住所・氏名を記入していただくほかは面倒な手続きはありません。団体の方は事前に議会事務局までご連絡ください。ぜひ、市役所3階議場に足を運んでください！

パソコンのほか

スマートフォン・タブレットでも  
市議会ネット中継が視聴できます！



市議会  
インターネット中継

新庄市議会 中継

検索



市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロア、市民プラザでも視聴できますので、ぜひご活用ください。

※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。

## 新庄市議会傍聴規則の改正について

社会情勢に合った「開かれた議会」とするため、傍聴人の禁止行為などの見直しを行いました。詳しくはホームページをご覧ください。



あ  
と  
が  
き

木枯らしが吹き、秋の深まりを感じる季節となりました。

市議会だより編集委員の大半は3年目を迎え、1名は経験者として参加しています。研修会参加などを重ねて表紙や誌面の見やすさに配慮しながら、写真や説明文、文字サイズ、大きさや言葉選びに工夫を重ねています。今年の表紙テーマは地元の有形・無形文化財とそこに暮らす市民。5回の会議を経て、丁寧に校正を重ねて作り上げています。これからも「市民の皆さまと議会をつなぐ」大切な役割を果たすべく、委員一同、より伝わりやすく親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。ぜひ手に取ってご覧ください。

(記・伊藤 健二)

## 議会報編集委員の紹介

委員長 鈴木 法学  
副委員長 伊藤 健一  
委員 鈴木 法学  
委員 伊藤 健一  
委員 鈴木 法学  
委員 伊藤 健一



今田 浩徳  
辺見 孝太  
鈴木 啓太  
亀井 博人  
伊藤 健一  
鈴木 法学

発行／山形県新庄市議会

編集／議会報編集委員会

問い合わせ／新庄市議会事務局 〒996-8501 山形県新庄市沖の町10番37号

TEL 0233-22-2111 (内線302・303) 0233-23-5002 (直通)

FAX 0233-22-0989 E-mail gikai@city.shinjo.yamagata.jp



環境にやさしい植物油インキを使用しています